

令和2年度文化芸術振興費補助金地域と共働した博物館創造活動支援事業
スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト

スポーツミュージアムネットワーク シンポジウム

ZOOM
要事前申し込み
詳細は裏面参照



2021. 2/20 (土) 13:00—15:30

■ メッセージ 室伏 広治氏 (スポーツ庁長官)

■ 基調講演 「スポーツミュージアムの可能性」

栗原 祐司氏 (京都国立博物館 副館長)

■ パネルディスカッション

「スポーツミュージアムの人材育成に向けた連携と展望」

來田 享子 (中京大学スポーツ科学部)
伊東佳那子 (中京大学スポーツミュージアム)
山谷 和正 (札幌オリンピックミュージアム)
田口 和男 (長野オリンピックミュージアム)
下湯 直樹 (日本オリンピックミュージアム)

モデレーター：新名佐知子 (秩父宮記念スポーツ博物館)

中京大学スポーツミュージアム
第3回特別企画展「学芸員の世界」

主催：スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト実行委員会
事務局：〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-11-17 秩父宮記念スポーツ博物館内
Tel : 03-5849-5400 Fax : 03-3629-1660 <https://www.jpnsport.go.jp/muse/home/>



スポーツミュージアムネットワーク シンポジウム

2021. 2/20(土) 13:00—15:30

日本国内には数多くのスポーツミュージアムがありますが、各館で所蔵するスポーツ関連資料について、収集・保存・公開に関する方法が確立されておらず、ミュージアム同士の連携も十分ではない、という現状があります。こうしたことから、貴重なスポーツ関連資料が一般に知られることなく、十分に活用されないまま、常に散逸の危機にさらされていると言っても過言ではありません。

そこで令和2年度に秩父宮記念スポーツ博物館を中核館として、文化庁事業「スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト」を進めてまいりました。その成果として、スポーツ関連資料、つまり「スポーツ文化遺産」に関する全国的・横断的なネットワークを形成するための拠点となる「スポーツ博物館連絡協議会（仮称）」を今後立ち上げていきたいと思っております。そのキックオフとして今回、国内の主要なスポーツミュージアム関係者が一堂に会するシンポジウムを開催し、「スポーツ文化遺産」を適切な形で後世に継承・活用するとともに、スポーツミュージアムを持続的に機能させるための方策について議論したいと思っております。

プログラム

- 進行：青木 祐一（秩父宮記念スポーツ博物館）
- 13：00 開会あいさつ 松坂 浩史（独立行政法人日本スポーツ振興センター・理事）
- 13：05 趣旨説明 木村 一貫（秩父宮記念スポーツ博物館）
- 13：10 メッセージ 室伏 広治氏（スポーツ庁・長官）
- 13：15 基調講演「スポーツミュージアムの可能性」
栗原 祐司氏（京都国立博物館・副館長）
- 14：10 休憩
- 14：20 パネルディスカッション
「スポーツミュージアムの人材育成に向けた連携と展望」
来田 享子（中京大学スポーツ科学部）
伊東佳那子（中京大学スポーツミュージアム）
山谷 和正（札幌オリンピックミュージアム）
田口 和男（長野オリンピックミュージアム）
下湯 直樹（日本オリンピックミュージアム）
モデレーター：新名佐知子（秩父宮記念スポーツ博物館）
- 15：00 スポーツ資料の紹介と質疑応答（綾瀬収蔵庫よりライブ配信）
- 15：28 閉会あいさつ 河村 弘之（秩父宮記念スポーツ博物館・館長）

申し込み方法



- ・参加費は無料です。
- ・先着100名または2021年2月20日12：00に募集を締め切らせていただきます。
- ・左のQRコードから申し込みフォームにアクセスしてください。
- ・パソコンの方は[秩父宮記念スポーツ博物館WEBサイト](https://www.jpnsport.go.jp/muse/)から申し込みできます。
- ・視聴・参加にはZOOMによるミーティング環境が必要です。
- ・1件のお申込みに対して1つの入場アカウントのお申込みとなります。
- ・当日のアクセス方法は後日メールでお知らせいたします。

【秩父宮記念スポーツ博物館WEBサイト：<https://www.jpnsport.go.jp/muse/>】